HOKKAIDO UNIVERSITY

| | |
|---|---|
| Title | 『農村社会学の学史及び学論の研究』の転載に際して |
| Author(s) | 鈴木, 栄太郎 |
| Description | 資料作成年不明（システムの制約のため、発行日には没年を入力した） |
| Citation | 各務時報, 50 |
| Issue Date | 1966 |
| Doc URL | https://hdl.handle.net/2115/77681 |
| Type | article |
| File Information | A018_02_03all_Part12.pdf |

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

論說

# 『農村社會學の學史及び學論の研究』の轉載に際して

鈴木榮太郎

本篇は各務研究報告第十一卷として既に公にされて居たものであるが、同報告は三百部を印刷するのみにて其れも主として學校や圖書館や官廳に頒布されたのであるから、一般校友會員諸君は其れを閲覽する機會が無かつた。そこで刊行部の人達の慫慂に從つて本誌に轉載して、校友會員諸君の御高見に供し御教示を仰ぐ機會を得た譯である。

私の此研究は農村社會學史の研究に最初の捨て石を置いたのに過ぎない。多くの拙劣な部分や缺點を私自身すら認めて居る。それに農村社會學そのものが生れたばかりで、ひどい勢ひで成長して居るのであるから二三年前まで主要な潮流であつたものが、今ではもう忘れられたり、又其反對の現象が屢々起り得るのである。凡そ歷史は時代と個人の主觀が構成し創造するものであるから、時が經ち人が異れば强調する部分は自ら異るものである。そんな譯であるから私は此研究が未だ試みられて居なかつた農村社會學史の研究の爲の一つの捨て石になる事が出來たなら、それで充分に滿足するものである。多くの學者より得た過分の讃辭は私には寧ろ內心苦痛であつた。

然し私は此報告の發表によつて、二人の海外の學者に親しむ機會が出來た事を全く望外の喜びとして居る。其一人は支那の國立孫逸仙大學教授翟克氏であり、他の一人は米國ミネソタ大學教授ヂンマーマン氏である。前者は私の報告を支那語に飜譯された事が機緣になり、私は同氏を通じて親しく支那に於ける農村研究を學び得る機會を得た。私等は日本の農村特に村落社會構成の研究の爲には、極東文化の母胎として支那の農村地方の研究を度外視する事は到底出來ない。ヂンマーマン博士は昨秋シヤムの農村社會研究の爲に、同地に赴かれる途中日本に立ち寄られたが、其際私は博士と一諸に山村を探訪して數日を共に過し色々興味多き經驗をした。私は將來合衆國の農村社會學研究に色々の意味に於いて、博士の力を藉りる事と思つて居る。

私は此報告を轉載するに際し、色々訂正加筆したいと思つて居たが、終いに其れが出來なかつた事を殘念に思つて居る。然し私が今となつて此報告に物足りなく思ふのは要之次の諸點である。

第一に、本報告第一編を草するにあたり雜誌 "American Journal of Sociology" 及び "Journal of Applied Sociology" を初號より全部目を通す事が出來なかつた事。私は前者の最近約十年間及び後者の後身 "Sociology and Social Research" を利用し得たに過ぎぬ。又合衆國農務省農業經濟課より出る農村研究に關する諸報告併びに L. A. Bain and Others, Trends in American Sociology, 1929. を讀む可くして讀んで居なかつた事。

第二に、第一編中に或ひは第三編として從來合衆國の農村社會學者によつて成された代表的研究を若干選び出し、其等の研究の方法と結果を紹介す可きであつたと思ふ。私はかくの如き代表的研究としては Galpin 其他の Rural Community の研究、J. M. Williams の農村社會心理學的研究、Hawthorn の農村社會化の研究、Torokin 及び Zimmermann の農村と都市の比較研究等をあげる。私は此等の研究の實例を紹介す可きであつたのである。

第三に、若し本報告を復た上梓する機會があつたならば以上の訂正加筆の外に、農村社會學關係圖書目錄を年代順に配列したものを附錄したいと思つて居る。

その外不備不滿の點は限りないが、私が今一番氣に病んで居るのは以上の諸點である。

學者の著書を基とした理論の研究も容易でないが、具體的事實の調査研究はもつと困難である。私は長良川最上流域の若干の部落の調査研究に志してより既に四年未だ見る可き成果を得ない。實際の調査研究には人と時と金とが必要である。私は其何れにも惠まれて居ない。（昭和六年二月十一日）

# 岐阜高等農林學校實驗農場土壤に對する三要素試驗成績

土壤肥料研究室　日比野忠雄
横山甫直

本校實驗農場土壤に於て昭和二年春期より三要素試驗を行ひたり。同時に比較參考の爲めに東京帝國大學農學部駒場の、無肥料土壤につき同樣の試驗をな